

## 弁護士と趣味 第2回

会報編集委員会が、会員の中から普段からはうかがい知れない趣味を持っている人を紹介するシリーズ「弁護士と趣味」の第2回目は、北口雅章会員の食玩フィギュアコレクションを紹介します。

大型連休を控えたある日の午後、北口雅章会員の事務所を訪ねた。趣味のフィギュア収集の取材を申し込んだ際には、「マイナーなオタク系の趣味なので、会報に掲載してもらっても大丈夫かな。」と心配そうな面持ちであったが、取材当日は満面の笑みを浮かべた北口会員に迎えられた。依頼者との打合せを終えたばかりとのことであったが、とても今まで仕事をしていたとは思えない表情である。



(北口コレクションの例その1)

まずは、北口会員の事務所に飾られているフィギュアの数々を見せてもらう。会議室（打合せ室）や北口会員の執務室へと通ずる廊下やロッカーの上には、陳列ケースに入ったフィギュアが、文字どおりに所狭しと飾られているが、それだけではない。事務所の受付カウンターの上から北口会員の執務机の横、はては北口会員の執務室の入り口の鴨居の上まで、少しでも空きスペースがあれば、そこはフィギュアの展示場所となっている。

ところで、「食玩フィギュア」とは、北口会

## 会報編集委員会

員の説明によれば、チョコレートやキャンディ等のお菓子に付いている「おまけのおもちゃ」のことであるが、とてもそうとは思えない。その精巧さには本物そっくりの質感があって芸術作品のようである。子どものころに夢中になった「グ〇〇のおまけ」とは全くの別物である。

北口会員のコレクションの対象は、大阪府門真市に本社のあるフィギュアの製造販売の老舗である海洋堂と製菓会社とのコラボレーションから生まれたチョコエッグ（後にチョコQへ変更）の「日本の動物シリーズ」「おもしろ動物シリーズ」「ペットシリーズ」が中心で、特に第1弾から第11弾まである「日本の動物シリーズ」はほぼ全部を収集しているとのこと。このシリーズは、犬や猫や猿等のお馴染みの動物はもちろん、鳥類や魚類から昆虫や爬虫類まで含まれており、一部はとても可愛いとは思えないところまで精巧に造られている。シリーズが進むにつれてマニアックな動物が増えて着色技術も高度化しているとのことであり、キタキツネ、カワウ、ザトウクジラ、アオウミガメ、オオサンショウウオ、スナメリ、イリオモテヤマネコやムツゴロウが極めて精巧に造られていることに驚かされた。

北口会員のコレクションは、「ワイルドライフモデルスカルプター」である松村しのぶ氏が原型制作を担当したフィギュアだけを対象としているとのこと。松村氏の制作した動物フィギュアを見て、その精巧さ（リアリティ）や芸術性に魅せられたことが収集を始めるきっかけとなったとのことであり、決してお菓子のおま

けの動物フィギュアであれば何でも収集している訳ではなく、「松村氏の造形にかかる動物のフィギュア」という枠組みに沿ったコレクションであるとのことである。

ちなみに、松村氏は、北口会員によれば、動物模型の制作に関しては世界的に有名な人物で、米国の自然史博物館の依頼で同博物館に展示されている恐竜の模型も制作されており、NHKの「トップランナー」という番組にも出演された自然系フィギュアの世界のスーパースターであり、大阪の海遊館のお土産売場でかつて売られていた「水生動物コレクション」の模型の原型制作なども手掛けているとのことである。



(北口コレクションの例その2)

北口会員のコレクションをひととおり見せてもらった後で北口会員へのインタビューを行った。

**会報** 動物フィギュアの収集のきっかけは何ですか。

**北口** 平成13年の秋に本屋で「おまけフィギュア・海洋堂・全カタログ」というタイトルの本を見つけて立ち読みしたら、日本の動物を題材にした食玩フィギュアの写真が一杯載っていて魅せられてしまったことがきっかけです。

**会報** チョコレート菓子のおまけというのですが、どのようにして収集されたのですか。

**北口** 私がチョコエッグの存在に気付いたのはたしか平成13年11月のことです。この時は、食

玩フィギュアブームのはしりの時期で、「日本の動物コレクション」と呼ばれるシリーズものの第5弾がコンビニやスーパーのお菓子売場で売られている段階で、第4弾以前のシリーズものは、既に品切れ状態でした。

そこで、シリーズ第5弾以降は、「大人買い」と呼ばれる「箱買い」を敢行して全種類を集めました。お菓子を買っておまけを見るときの期待感を大切にする人達からは「箱買い」には批判もあるのですが。

(会報注一) チョコエッグは10個で1箱となっていて、ダンボール箱に8箱を入れて出荷されている。通常の「箱買い」は10個入の1箱を買うことを言うが、北口会員の場合には、その際のシリーズの総てを確実に入手するために、一回にダンボール箱3箱、個数にして240個を買ったそうである。北口会員は、この手法で第5弾以降の動物フィギュアは総てを収集したそうであるが、同じ種類のフィギュアを重複して買うことになったために、1種類ずつ陳列して、残りはダンボール箱に入れて保管されている。このダンボール箱も北口会員の事務所に所狭しと並んでいる。)

**会報** 収集を始めた際に既にお菓子の販売が終了して品切れとなってしまっていた種類のフィギュアは、どのようにして収集したのですか。

**北口** 第4弾までのシリーズは総てお菓子として買うことは出来なかったので、初めは、時間が出来る度に、中古の玩具を扱っている全国チェーンの「まんだらけ」を覗いたり、大須商店街の玩具屋などを徘徊したりして買い集めましたが、その後は、ネットオークションを利用するようになりました。「日本の動物シリーズ」には、シリーズ毎にツチノコとかオオクワガタの幼虫とかのシークレットアイテムと呼ばれる希少品や以前のシリーズをより精緻にした復刻版があるのですが、稀少品の殆どは、ネットオークションで購入しました。

**会報** コレクションには相当の資本も投下され

ているようですね。

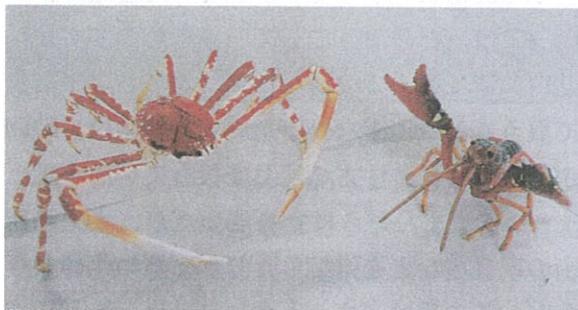
**北口** (しばし無言の後に) たしかに、ネットオークションでは1体が10万円もする松村作品もありますが、殆どは、1体が数百円から数千円程度のものです。私は、お酒もダメでそれほど飲みにも行きませんし。同期の某会員のオーディオや同期の某会員のレコード収集の趣味に比べれば可愛らしいもんですよ。

**会報** コレクションの動物フィギュアはチョコレート菓子のおまけのことですが、本体のチョコレート菓子はどうしているのですか。

**北口** チョコレート菓子は事務員さんに貰ってもらっています。親類の方々に配ったり、知り合いのお年寄りが楽しみにしてくれているとのことですので、決して押し付けている訳ではありません。

**会報** 食玩フィギュアの何処に魅了されたのでしょうか。

**北口** 小さなお菓子のおまけですが、極めて精巧に造られていて芸術作品としての魅力を感じる点です。このタカアシガニやアメリカザリガニも、「これがチョコレートのオマケかよ?」と思うような本物そっくりのリアリティさにあふれている優れた作品です。



ただ、私の場合、それだけではなく、正直なところ、ノスタルジーというか、幼少時のコンプレックス解消という形で快感を求めているのかもしれませんね。私は、貧しい公務員の家庭で「質素に」育てられましたので(笑)、子どものころに満ち足りる程におもちゃを買ってもらった経験がなく、どちらかというと、鬱屈し

抑圧された欲求が心の底にあって、その反動として、大人になってから、幼少時に溜まった欲求不満を一挙に解消している、という面は否定できません。

**会報** これだけのコレクションが事務所に陳列されると、打合せや相談等で事務所に来られる方の目につかざるを得ないと思うのですが、このコレクションを見られた来訪者の反応は如何ですか。

**北口** 本当に千差万別です。まじまじと見入るように観察された後で、「これ、先生のご趣味ですか?」と好奇の目でニンマリされる方もおられれば、そっけなく無視される方もおられます。趣味やコレクションに対する感じ方は人それぞれですが、案外、事務所にこられた方々のフィギュアに対する反応から、その人の精神的なゆとりの程度や童心の有無、感受性等を感知できることもあり、来訪者の人柄を知る上でも参考になります。

また、依頼者の中には、「松村氏の造形」という枠組みを超えて、わざわざのために、カタツムリ等の動物のガラス細工を買ってきてくださったり、「コレクションに加えて下さい。」とゴリラやハリネズミのフィギュアを持参してくださる方もおられます。

**会報** コレクションのことで、困ったり、嬉しかったりしたことを教えてください。

**北口** 客観的に考えれば、コレクションのフィギュアは、法律事務所に陳列棚を設けて披露するのに相応しい「高尚な」ものではありませんから、私なりに恥じらいはあります。私が主任弁護人を務めた刑事事件で、弁護団長に担当出した元検事総長が私の事務所に挨拶に立ち寄られた際には、流石に子供じみたオタク系のコレクションがズラっと並んでいたのでは具合が悪いと思って、大急ぎでコレクションの一部を片づけたこともありました。

嬉しかったことといえば、フィギュアの効用かと思いますが、ある示談交渉事件の相手方が

小学校低学年のお子さんを連れてこられた際に、事務所の事務員さんとフィギュアで遊んでいてもらい、示談が成立して帰られるときのお土産に「チョコエッグ」をお子さんに箱ごとプレゼントしたら、大喜びされたこともあります。

**会報** 一番お気に入りのフィギュアは、どれですか。

**北口** 収集したフィギュアはそれぞれに魅力がありますので、特に「これが一番！」というものはありませんが、例えば、このドングリを抱えて持ったヒメネズミなどは、実に可愛らしく出来ていると思います。



**会報** 陳列してある以外のダンボール箱に保管されているフィギュアは、どうされるおつもりですか。

**北口** コレクションとしては1種類ずつあれば足りるので、以前から、箱買いしたときの重複品は、養護関係の施設にでも寄付出来ればと思っていました。最近、ある事件の関係で知り合った名古屋市の子ども青少年局の方に相談したところ、施設の関係者で引き取ってくれる方があるとのことで、現在はその方からの連絡をお待ちしている状況です。

**会報** コレクションは、今後どのように展開される予定ですか。

**北口** 最近は、食玩フィギュア等で松村氏の新作を見かけなくなりまして、食玩フィギュアのブームも終わってしまったようです。将来的に

はコレクションをパノラマ形式に並べて「フィギュアの館」でも作ろうかと思っています。

**会報** 動物フィギュアのコレクション以外にも趣味をお持ちですよね。

**北口** 動物フィギュアの趣味は「遊び心」で楽しんでいますが、私の本来の趣味は、やはり芸術一般ですね。事務所の壁には、私の趣味で宮田雅之氏の切り絵や、キースレイノルズや平山郁夫画伯のシルクスクリーン等をかけていますが、一番心を打たれるのは、何といってもミケランジェロの作品群ですね。音楽であれば、バッハ、ヘンデル、ビバルディ、モーツアルトといったところでしょうか。我々弁護士を含めた法律家の仕事は、どうしてもストレスが溜まり易いので、「遊び心」と「癒し系」のストレス解消法は欠かせませんね。

**会報** 今日は、お忙しい中を会報のシリーズ「弁護士と趣味」の取材をさせていただき、ありがとうございました。

**北口** いえいえ、これまで同期の会員や一緒に仕事をした先輩会員から「好奇の目」でみられがちだった私のコレクションが、ようやく目の目を見ることになり、我が愛知県弁護士会に「認知」していただけることを大変嬉しく思います。

#### <取材を終えて>

お菓子のおまけといえば、子どもの物と思っていたが、原型の制作や題材によってはネットオークションに盛んに出品されるなど、大人の世界の趣味として充分に成り立っていることは驚きであった。

それにしても、時が経つのも構わず、まさに少年のように目を爛々と輝かせながら、本当に嬉しそうに動物フィギュアやそのコレクションについて熱心に語ってくれた北口会員の表情と、取材中も我関せずとばかりに黙々と仕事をされている石黒会員と事務員さんの存在が印象的であった。